

# みうらトーク&トーク 平成 29 年度第 1 回

## 日 時

平成 29 年 7 月 26 日 (水)

19 時～20 時 20 分

## 参加者

初声町区長会

## テーマ

今後の初声町を考えて

初声区長会長あいさつ

三浦市長あいさつ

三浦市副市長あいさつ

## <意見交換・概要>



## 市長

それではよろしくお願ひ申し上げます。座ってお話をさせていただきたいと思ひます。今、木村会長からお話も頂いておりますけれども、大きなテーマの街づくり、都市開発が行われようとしています。その概略と現状までの経過について、市で掴んでる部分をお話させていただきたいと思ひます。

まず、プロパストが開発しようとしていた海側の地域の開発の件でございます。

プロパストの跡地利用につきましては、現計画のプロパスト三浦計画というのがございまして、それに基づいて平成 24 年にカインズホーム沿いの横の 11m 道路と排水路の整備は、すでに完成をしております。それ以降の工事着手がされていない状況となっております。

それ以降の工事につきましては、プロパストさんが、自社だけの事業着手が非常に困難だということで、共同事業者ですとか土地の売却というのを模索していたのですが、結果的にリーマンショック等によりまして、進展が全くせず、平成 28 年に土地が売却されました。行き先を色々探していましたが、結果的に千葉県に本社があります株式会社スマートコミュニティという会社が平成 28 年 5 月にその土地を正式に購入して、引渡しが行われたと、だから今は株式会社スマートコミュニティという会社が土地の所有者になっています。

その後、プロパストから地元関係者の皆さまに対して、所有権を移転したと、お知らせしているとプロパストからは報告を受けています。

もちろん三浦市としても知っておりましたけれども、プロパストさんがこちらの地元の皆さんと協議をしておりましたので、プロパストから土地を売却したという報告が地元に行われています。

昨年の 10 月にですね、三浦市としても非常に長期間事業が止まっていた地域でも

ありますし、優良な住宅地として開発すべきだと望まれている重要な地域でもありますし、開発すべき地域なので、そういった意味でこの地区の新たな事業展開するというところで株式会社スマートコミュニティさんがCCRC構想、つまり、アクティブシニアのみなさんの新しいコミュニティ作りをテーマとして開発の要請がございまして、その件で調整に入ってます。

今、株式会社スマートコミュニティさんの会社概要ですとか、事業の構想、大まかな構想などについて、市と一緒に説明会をやらせていただいたという段階でございます。

これからですね、この説明会で最初の構想の説明会では地元関係者の皆さんからもプロパストとの約束したことはきちんと承継してもらいたいというお話もいただいておりますし、南北へ繋がる道路、矢作と黒崎がつながる道路を必ず造ってほしいということですか、開発区域外の所有地、つまり開発地域外に一部プロパストの土地があるのですね。そこには一定度の地域貢献できるようなものを検討してもらいたいですか、地域の発展に伴う開発計画を実現してもらいたいですか、いくつかの貴重なご要望をいただいております。そのほかいくつか貴重なご意見をいただいておりますので、そういったものを踏まえて今開発の設計の段階のところでございます。

株式会社スマートコミュニティというのは、千葉市稲毛において高齢者向けの共同住宅、高齢者という表現がよいのかどうかわかりませんが、50歳以上のアクティブシニア向けの共同住宅をすでに展開している実績もある企業でございます。

三浦版CCRC構想というのは、日本版CCRC構想というのが大きな大元にあるのですね。それは国が方針としてですね、首都圏のアクティブシニア、団塊の世代が75歳を迎える2025年問題というのが大きなテーマとしてクローズアップされていますけれど、2025年問題を控えて首都圏の多くの元気なアクティブなシニアの皆さんを地方に移住させよう、地方も活性化が図れるし、一極集中が緩和できる、そのような大きな政策として日本版CCRC構想というのが掲げられました。その中で三浦市は首都圏に60km圏内で非常に近い地域でもあるし、都市部の中では田舎というのは言葉が悪いですけど、自然が残る非常に風光明媚な場所だということで、首都圏に近いという利点を活用した、アクティブシニアの皆さんにぜひ地方に移住をしていただくという、大きな考え方の中では三浦市は神奈川県にあり、近い地域の場所として、それにふさわしい場所ではないかということ三浦市として検討させていただいて、三浦版CCRC構想というのを作りました。

三浦版CCRC構想というのは、ここだけの地域だけではなくて、三浦市全体でそういったコンセプトの開発を誘導していこうという動きもあります。

様々なご意見の中には、年寄り呼んでどうするんだ、ですとかそういう事をおっしゃる方もいらっしゃいますけど、それだけではなくて、街の活性化ですとか、人口減少対策、そういったことをトータルで踏まえて、若い世代とアクティブなシニアの皆さんに第2、第3の人生を楽しんでいただく地域にしてはふさわしいのでは

と、計画として三浦市では持ちました。

その三浦市で持った計画にほぼ合致できるような企業が手を挙げてくれたということで、今その計画が進んでいます。動けなくなった方々がずっとそこにお住まいになるというコンセプトではなく、そういった場合には施設をご紹介したりとかというような事になりますので、基本的にはマンションをつくる計画になろうかと思えますけど、そのマンションには動ける元気な方々がお住まいになる、ということになろうかと思えます。詳細の計画については、これから地元説明に入っていきますので、そういったところで事業者からの質問等に対応するようになると思えますけど、そのようなコンセプトを持った新しい街づくりというのが、これから進められるということでございます。

現時点の状況をお話しさせていただきますと、プロバスト三浦計画の経過や内容の確認ですとか、都市計画の制限など、今後の開発事業に向けた計画内容の検討などの事前調整を行っている状況でございます。

今後、具体的な事業計画として整理、調整がされていきまして、計画案というものができてきます。そこで一定の図面というのですかね。プランというのができるんですね。そこで地元へお見せして、事業説明させていただいて、詳細な協議に入っていくと思えます。そんなことで検討をして具体的に進んでいくことになろうかと思えます。

今は設計段階に入っていると思うんですけど、それが具体的にまだ市に示されていませんので、そういった調整がこれから入っていきます。そういった意味では区長会の皆様には重要な役割を担っていただくことになると思えますので、ぜひよろしくお願いいたしたいと思えます。様々な都市計画、つまり建物を建てたりですとか、開発をする場合には、道路を造るとか空間をつくる、建物高さですとか、様々な課題をクリアする開発になりますので、高さの問題もありますし、現行法内でのとりまとめというのを基本に進めていますので、高層マンションとかそういったプランもあったことはあったのですが、なかなか法的にクリアしていくのが難しいこともあって、事業者と調整のなかでは現行法のなかでできる開発ということで今進めてもらってるところでございます。具体的には地元からいただいている課題も含めて調整に入っていくことになるかと思えます。やりとりはまた後でさせていただきます。ざっと説明だけさせていただきます。

次に三崎高校跡地の件でございます。あそこには、市民交流センター等の公共的な施設、民間施設、ベイシアというスーパーが入るんですけど、スーパーの中に市民交流センターというのを計画されて、市民交流施設と合わせて建物の計画がされています。

三崎高校跡地全体では市民交流拠点として市民の皆さんが三浦市の中心部として交流できるような拠点作りを目指そうというコンセプトでこれから進んでいきます。

以前、校舎のあった土地、つまりA地区、B地区と分けていて、A地区は校舎が

あった地域、B地区というのはグラウンドを含めた下側の地域になりまして、A地区につきましては、消防署ができていますけれども平成 27 年 11 月に株式会社ベイシアというカインズホームの親会社と事業契約を締結し、平成 30 年 12 月までに市民交流センターと商業施設スーパーですね、一体的に整備する予定で、事業を進めています。

ベイシアの店舗計画につきましてはまだ、ベイシアにおいて、様々な設計プランを検討している段階であり、詳細がお話できない状況でございますが、今後、市と調整を図りながら、おおよその設計案がまとまってきた段階で、建築工事や店舗開設に向けた手続きに入っていく予定となっております。

一体的に整備する市民交流センターにつきましては、市民の方々がワークショップやミーティング等に利用できるスペースになりますので、近接する小網代の森のインフォメーションセンターのスペースなどを設けることを考えておりますが、現在、市とベイシアで協議しながらレイアウト等の検討を行っている状況でございます。

一方、これらA地区の施設整備と並行して、市民交流拠点を形成していくうえで、新たに生じることが想定される、ベイシアさんに入る車の流れなどを整備する必要がありまして、これを円滑かつ安全に処理するため、平成 30 年度にグラウンド部分の土地である、B地区における一部道路の新設と小網代の森入口の交差点改良を実施することを考えております。これに先立ちまして、本年度、B地区の一部について、造成工事を実施する予定となっております。引橋地区の皆さんには概略の説明等はさせていただいておりますけど、当面は小網代の森入口の交差点がメインの進入路になる。三崎高校の跡地全体の大きな進入路になるということで、国道 134 号線を大幅に広げて、三崎の方から来て右折できる車線。つまり、三浦海岸の方から来ると右折で進入するしか手段がありませんので、三浦海岸の方から来た場合、引橋の信号を右に曲がって、小網代の森の入口のところから右折車線ができて、右折して進入をして、B地区並びにA地区の方にも動線ができるということになるかと思えます。初声方面ですとか三崎方面からは、左折の進入ができますので、そこは大きな問題はないんですが、やはり三浦海岸方面から来た場合に右折の進入路を、今ある消防署の横の道からの進入ですと、引橋交差点という大きな交差点のすぐ手前になりますので、警察との協議がどうしても整わなかったんです。信号を2つ並べるわけにもいかず、手前に長く右折車線を作ってはどうかと協議もさせていただいたんですけど、交通渋滞のメッカになってしまうということもあって、右折で進入できるきちんとした信号を作るということが、警察との最終的な協議をまとめた話になりました。そこでちょっと時間がかかってしまったんですけど、右折の信号を作るということで県とも調整をさせていただいて、国道 134 号線の交差点改良をさせていただくということになりました。それを今年度の 7 月の議会で、一部、1 億 2 千万くらいだったかな、予算を計上いたしまして、進入路の造成工事の工事費の予算を計上させていただいて、平成 29 年度から工事に入って、平成 30 年度

から道路を作っていくということになろうかと。平成 30 年の 12 月ということになっているんですけど、多分平成 31 年の 4 月になろうかと。ベイシアのオープンに向けた一体的な工事として、道路の工事と、ベイシアの本体の工事が進んでいくというようなことになろうかと思えます。工事に際しましては、工事車両など様々、近隣の皆様にはご迷惑をおかけするようなことになろうかと思えますので、きちんと説明会をもってやらせていただくというようになろうかと思えます。

三崎高校の跡地の整備につきましては、将来的には一番下のグラウンドのところも底上げをして、ちょうど引橋区の住宅がありますよね。その住宅の面まで土盛りをさせていただいて、住宅からグラウンドの方に車で出られるようなことを将来的に想定しております。グラウンドのところは城山にある市役所を、城山地区の活用と合わせて、三崎高校の跡地へ将来的には市役所を移転する構想として、開発をしていくということになろうかと思えます。スパン的には長いスパンになろうかと思えますけど、三崎の城山地区の開発関係。今三崎の城山地区っていうのを、三崎中学校が統合して今閉鎖しておりますので、一部校舎を市役所として使っているところもあるんですけど、学校がちょうどいま空いていますので、そこを三崎の下町地区、観光で生き残っていく町ですので、経済的な効果を生むような施設の誘致ですとか、そういったことを並行して進めていながら、市役所は城山地区の活用が決まった時点で、引橋に移転をするというような計画になろうかと思えます。ただ、私の政策としては出させていただいてますけど、行政計画としては固まっていませんので、それを目指してやっていこうかなということで、計画を進めていくつもりでございます。

ベイシアさんが警察協議で時間がかかったということもあって、進出がちょっと遅れてるということで、ベイシア撤退だなんて変な情報も流れたんですけど、そんなようなことはありませんので、きちんとベイシアさんとも協議を進めていくということで。ベイシアさんというのは北関東を中心とした生鮮スーパーです。群馬ですとか栃木、埼玉には結構展開されているんですけど、神奈川では三浦市が第 1 号として計画しているんですけど、これからは県央ですとか藤沢ですとかあの辺も視野に入れて計画していきたいというようなお話はしているようであります。まだ具体的にはこれからなんですけど。

いずれにいたしましても、カインズホームさんですとか、ワークマンなんかと関連のグループ会社、まあ親会社になるんですけど。いろいろお話をいただいているんですけど、平成 30 年 12 月が進出予定なんですけど、若干遅れるかもしれませんので、平成 30 年度中に工事を完了させたいということで、進めています。

最後にそのエイヴィさんの話なんですけど、エイヴィさんは平成 23 年にプロバスト三浦計画の事業縮小によりまして、カインズホームさんに土地を売りました。併せて、そのセブンイレブンの奥の三浦臨海高校の隣の土地というのは、約 1.3 ヘクタールで、エイヴィさんが買っています。エイヴィさんが当該地を今所有されていますけど、具体的なスーパーマーケットの店舗の進出に向けた事業計

画というのは、現状進んでいない状況です。私も社長とお会いしたりするんですけど、諦めてはない。いずれ店舗を出したい地域なんだというお話はされていましたが、まだ具体的には、エイヴィのスーパーを出すという話は、現実的には今ないそうです。

この辺はスーパーがないっていうのが地元からもお話をいろいろと聞いていますので、早く進出していただけないかというお話はしています。セブンイレブンさんともいろいろあるということをちらっと聞いていますが、エイヴィさんとしては諦めていないそうです。

概略をお話させていただきましたが、まずこの件でお話というかご意見というか、ご質問などがありましたらいただけたらと思います。

市民

プロパストの関係なんですけど、今カインズホームのところまできちんとした道路ができていますよね。そこから先は、うちなんかも隣接する土地があるんですが、市街化区域になっているんですよね。ところが、あそこカインズホームよりは道路じゃないから家は建ちませんよということで市の方に言ったら回答されたんですよ。

市長

今は公道になっていませんからね。これから開発されていくと、市に道路って移管されていきますので、これから展開も変わってくると思います。

市民

それはいいんですけど、そうなる前に道路で使えないところが市街化区域になっていて、高い税金を払っているんですよね。なんでそうなるのかな。道路じゃないところに市街化区域があって、その評価額がものすごい高いんですよね。家も建たないところに、どうしてそんなに高い税金がかかるのかな。

市民部長

それは場所はどこに。

市民

ちょうどカインズホームの反対側です。漁業組合の土地です。

市民部長

初声漁協ですか。途中まで市街化区域だと路線価方式とってですね、その区域の中に標準地の差が出て、その鑑定をします。その鑑定をした結果にですね、道路に大概路線価というのはついているんですが、そこに評価が付いてきます。その鑑定結果から出すようになっているんです。なので、実際の売買で売れない土地だとかいうお話もたくさんあるんですが、一応不動産鑑定士の方が評価を出している形になっているので、それが結果的に売れないということもありますし、ちょっと安めのところであっても、鑑定するとそれなりの評価がつくこともあることなので、家が建つ建たないという、個々のケースになってしまうので、その全体の評価と比べるとですね、実際のところは場所を確認して、どんな土地なのかとか、市の税務課に聞いていただければと思います。

市長

税務課に相談していただくのが一般的です。概略として、家も建てられないのに市街化区域だから高い評価額がついてるっていうのを、なんとかしますとは言えないんですよ。だから個別事案としてご相談していただければ。

市民

その路線価っていうのは道路じゃないのになんで出てくるのかな。

市民部長

大概が道路についています。しかし、道路じゃないようなところでも、その近い

路線から価格を引っ張ってきたりもしますので、その個々のケースではちょっと、私も今どうなっているのか分からないので。

**市長** いずれにしてもあの辺の地域というの、どこに道路がついて、どこが住宅地になるというのは、これから目で見れるような形で地元区へお話をさせていただこうかと思います。

他にありますか。

**市民** 私は昔営業でこのベイシアさんをいろんなところで見たんですけども、ベイシアがあって、その中にカインズホームがあつたり、電気のお店があつたり、という作り方をしているところが多い。三浦の場合は先にカインズができていますけど、ベイシアさんが近くにいるというお話はなかったんですか。

**市長** なかったです。

**市民** そうですか、我々初声に住んでいるので、できたらそのエイヴイの跡地あたりにベイシアさんが入ってくれて、スーパーができればありがたいです。

**市長** あの、カインズさんとベイシアさんはセットじゃないんですね、グループ会社なんですけど。ここの土地をプロパストから土地を買うときに、いくつか債権者の方でもいろいろな企業と接触した中で、カインズホームさんとエイヴイさんが手を挙げてくれたと聞いていますが、こちらにベイシアさんとセットでカインズホームさんができるというようなお話はもともとなかったんです。

**市民** 昨年その、なんとかホームの話は市長がいるとき、昨年もされていたじゃないですか。

**市長** なんとかホームっていうのは。

**市民** コミュニティホームでしたっけ。あれ、去年からどのくらい進んでるんですか。

**市長** あれ、設計の段階ではね、いくつかパターンがあつたんです。広大な地域でするので、例えば高さ制限が三浦市にはあるんですね。で、それを超えるような計画なんかもあるんですけど、地区計画というのが作られて、その広大な地域の中で、こういったまちづくりをします。ですから、高さの制限を緩和してくださいという制度があるんですね。で、その地区計画を作っていこうという下準備もしたんですけど、やっぱり現実的にはかなり高い建物、50メートル以上の建物にしないと、コスト的に回収できないようなシミュレーションをされている。やっぱり会社側でもいろいろ検討していただいた結果、地区計画を作って、というのもできないことはないんですけど、それはやっていくと余計に時間がかかって、2年3年先になってしまうので、今できる計画で。当初3000世帯ぐらいの計画をお持ちになっていたんですけど、結果的にはその半分ぐらい、1500世帯ぐらいの計画で落ち着かせようかということで、今設計しているようです。具体的にはまだお示ししていただいてないんですけどね。

そんなようなやり取りをさせていただいた経緯はあります。

**市民** できなくはないってことですよ。

**市長** はい。もう土地は取得してますんで、あとはそこから転売するってこともないと

思いますんで。ご自身で計画していただけるということになっています。

市民

実はこの初声地区っていうのは、先ほど市長のお話に合ったエイヴイがしばらくは計画がないようだけどあきらめてはいないと。この地区はその、三崎の下町っていうのはフジスーパーが「ふれあいバス」とか、買い物に行けない人を集めて送るっていうシステムがあります。今度ベイシアが引橋地区にできるとあの辺結構便利になります。ところが、ここは昔から買い物難民がいて、農協のスーパーがなくなっちゃったから、エイヴイができるのをかなり地元では期待していた。やっぱりお年寄りが多い地区なんです、残念ながら。すると、どこにみんな買い物に行ったらいいのか、結構話に出てくるんです。エイヴイができれば全然問題ないんですけども、フジスーパーの人にちょっと聞いてみたんですが、初声地区にはちょっとバスが回せない。それで、例えばいなげやさんとか、そういうのに対応していないスーパーが、初声地区の方に対応してくれればいいんですけども、その辺を行政としてね、少しく、つついていただけないだろうか。

市長  
市民

バスを出しているのはフジスーパーしかない？

だと思います。エイヴイは平成 30 年の 12 月にベイシアさんができるそれよりもずっと後になってしまうわけですよ。まあ、車運転できる人は結構遠くまで行けるからいいんですけど。エイヴイまで行く人もいますよこの辺から。ただ、年寄りはどうしてもこの辺にほしい。車も運転できない。ある程度の年齢になると免許も返納しろと今一生懸命運動もやっていますから。そのために、どこか近くのスーパーへ引っ張っていったくれるような。フジスーパーこういうことやってくれればいいんですけど、個人の対応では難しいと思いますんでね。

市民

送迎バスが欲しいっていうことですよ。フジスーパーがもう少しこっちまで降りてきてくれればいいんだけど。いなげやが比較的こっちに近いで、こういうことを計画してくれればありがたい。

今浜諸磯にお風呂があるじゃないですか。あそこのお風呂は結構市の循環バスが回っているでしょ。初声地区っていうのはその恩恵がないんですよ。

市長  
市民

老人福祉センターのバスって走ってきてないの？

きてないです。だからそういった点で、今三浦海岸地区は結構スーパーもありますし、下町もそういう対応ができています。で、初声地区だけこれから開発がいっぱいあるよって言いながら、残念なことになっちゃっているんで、その辺を行政として少しどこかつついて、動かしてくれたらありがたい。

市長

今のお話はいくつか事情を調べて、区長会、毎月おやりになってますよね？そこで、フィードバックするようにします。老人福祉センターのバスが初声は来てないんですか。ああ、そうですか、すみません。市立病院のバスが、とても苦情をいただいたんですよ。要するに、南の方とか初声の方に来てるんだけど、帰りが早すぎて乗れないとか言われて、それもちょっと考えないといけない。

今お話した件で何かございますか他に。とりあえずはいいですか。じゃあこのテーマを含めて、今三浦市ですって、いくつか課題っていうのに取り組んでいます。

それは、今一番大きな小学校は初声小学校ですよ。でも市域では 100 人規模の学校が、三崎小学校、剣崎小学校、南下浦小学校、旭小学校の 4 校が 100 人規模の学校なんです。所謂単学級ですね。小学校の適正配置っていうのが大きな課題になって、進めています。

その他にも、今市民スポーツ大会が今度 9 月にありますけど、初声地区は非常に盛り上がっていただんですけど、どうしようかななんて議論にもなってるんです。初声地区は非常に盛り上がっていただいて、要するにモデルみたいになっていただいているんですけど。

その他にですね、幹線道路の関係でも、去年もお話しましたが、文化財の関係で遅れてしまって、平成 31 年度中に来ることになっているんですけど、そこから先は、三崎口の先から西海岸線道路の方にいくように県と調整しておりまして、整備推進箇所という、県道の計画の中に入れてもらっています。ですから、京浜急行の三戸の土壌整備の横に開発区域がありますよね。あそこの開発区域の計画が具体的に進んでいくんですけど、それと合わせて西海岸線道路を先に作ろうということで、引橋をかかず道路を優先的に作らせていただくような計画になるんですね。そうすると、高円坊から三崎口までの道路って後回しになっちゃうんですね。でも、それが結果的には、同時に計画しようとしても無理なものですから、とりあえず三崎口から先は、三戸のところからずっと西海岸線道路、油壺のちょうど入口の所でですね。ちょうどマリパークの手前の所、海岸にぬける道につないでいくっていうのを、計画していくことになっていますので。その後の動きですとか、今具体的に進んでいる話もいくつかありますので。この交差点改良も、本当はもっと速いペースでやればいいのに、皆様にはご迷惑をおかけしていますが、高円坊の方の開通と合わせてやろうと思っております。だいぶ進んできているとは思いますが、まだまだ右折するときに渋滞してしまっていますので、そういった整備なんかは協力して順次やっていきますので。

何か他にありますか？

市民  
副市長  
市長  
市民

三浦縦貫道路の出口、国道 134 号線の交差点の開発は平成 30 年 3 月でしたっけ？

平成 30 年度の終わりです。

平成 31 年 3 月ですね。

防災の関係で確認したいんですけどちょっといいですか。三崎高校の跡に埋め立てて大きなものを建てるということで、水の流れがどういうふうになるのか分からないんですけど、今九州なんかも大雨結構すごいですよね。で、この地域って前によく水が溢れてポンプを大きくしてもらったんですけど、その辺は、水の量とか多くなるのかななんて心配していて。今は埋め立ててかさ上げしていますよね。すると我々的にはそこより低い位置になっているところもありますよね。その辺はどういうふうに対応していくのかななんて。

あとは皆さん防災で火が付いた時に、ここは平地なんでいいんですけど、雨とかいろいろな土砂がこっちに集まってくるんじゃないかと言った時に、避難所の整備と

かそういうのが必要になってくるのかなと思っているんですが。まあ、今後の話になると思いますが、周りは下に家があつてがけ崩れとか。その辺もね、地域的にやっつけていかなければいけないのかなと。そんな計画があるのかな。

#### 市長

例えばその川の幅を広げたりですとか、雨水のキャパを広げるですとか、それを具体的に、今時間 50mm ぐらいまでの貯水のタンクをちょうど、アリーナの所にタンクがあるんですけど、今のキャパだと、今の集中豪雨の傾向を見ますと、50mm 以上の雨が降っているんですね。なので、そのときにどうしようかというのは今具体的に検討を始めているところです。ただ、そのタンクをでかいのに変えとか、計画を具体的に進めているわけではないので、例えばその、別の方面へもっていくとかその程度のことしか今はできないんですけど。そういった雨水の対策ですとか、そういったことは検討していくということで今、防災計画の中でも、風水害の規模も変わってきているので、それを踏まえて検討していくことになっています。

避難所なども、ここの地域はどうしても低い地域が多いんで、初声中学校が中心になっているんじゃないかと思えますけども、いずれにしてもそこへ行くまでのルートなんかもありますし、具体的に避難所の運営の訓練なんかもぜひ、一緒に市とやっていただければと思いますので

今度自衛隊からですね、OBの方に来ていただいて、防災の専門担当で配置していただくことになっていますので、三浦市にお住まいの方がちょうどいまして、そういった方に来ていただいて、いろいろ施策を充実させていただくような動きをしようと思っています。副市長がちょうど専門なんで。

#### 副市長

先ほどお話のベシヤさんの所、あそこ開発されて、雨水が多くなるんじゃないかと。まず、雨が降る範囲が広がることはありません。ですから今まで降った雨と、ただ量が多くなりますので、それがいっぺんにこちらに来ないようにするために、1度貯めます。下の方に大きなプールを作ったりして、いっぺんに流れないようにしていくっていうのを何か所かですっていうのが1点と、もう一つ先ほど土の話がありましたけれども今、これは農政の方とも一緒にやっております、一か所にたくさん大きな物を作ればよいんですが、なかなかその土地もありませんので、細かく、各川にいろいろな、少しずつ堰を設けて、やっていくことを順番にやっています。

大きく雨が降る量も増えますし、細かいことをやっています。

あと、交差点改良に伴って、ポンプ施設があるんですが、ポンプ自体を変えます。ポンプの能力も上がっていますので、今までと同じサイズなんですけど、吐き出す能力が上がっていますので、それで能力がアップするかなというふうに思っています。

それと、先ほど防災の話で、津波のことになるのかなと思えますけど、先ほど言った CCRC の計画の中で、ある程度高層の高さの物があれば、上の階をですね、避難所としてというふうに今投げておりますので、そういうことも含めですね、一か所に全部はなかなか難しいですが、全体的に、それに対応していければというふ

うに思います。

**市長** 他にございますでしょうか？

**市民** 先ほど市長から小学校の適正配置についてお話がありました。個人的な意見なんですけど、1つは学校の校数によって国からの助成金が決まっているということはご承知だと思うんですね。ですから、やたらに統廃合してしまうと経済的なメリットがかえって相殺される危惧が1つあります。

もう1つは、私は三浦の子どもが非常に好きなんです。のんびりしていて、小さい学校で結構よく手をかけられて。それが三浦の素直さとか、子どもらしさの根底にあるんだと思います。

それから、かえって遠距離をひーひー言っ通わせて、学校の数が減った、それがほんとに子どもの幸せになるのかな。

**市長** ありがとうございます。他にございますでしょうか？

**市民** 三浦ふれあいの村は？県なんですけど、あそこの中の情報みたいなものが知りたい。

**市長** 今ですね、ふれあいの村の再整備というのが、今後検討されていくと聞いています。

**市民協働課長** 神奈川県の方はですね、民間事業者に譲渡、経営権を移管するということを進めています。今、選定の時期に入っております。具体的には来年の4月から新しい経営者に移管したいというふうに県は考えています。まだ具体的に決まっていますが、予定されているやまびこ棟の宿泊施設の改修は、予定通り来年行うはずなので、県はまず投資をして、新しい経営体制に移行する準備をしている段階です。

**市長** 今YMCAが指定管理でやっているんですけど、県は民間に経営譲渡したいんですよ。あそこ閉めるって言われたときに、大騒ぎしたんですよ。山に2つ、海に1つふれあいの村ってあったんですね。長浜の所が一番汚くて、お金がかかるというので、閉めるって話になっちゃったんですよ。それいきなり私に言ってきて、神奈川の一番いいところは海もあるし山もあるってところじゃないのかって、県と非常にやりあって、県会議員にお願いして、結局残してもらったんですよ。でもやっぱり県としては、経営の効率化だとか、検討するのは至極当たり前の話でありますから、施設は残しつつ、経営を民間に移管していこうと。県内の子どもたちが中心になると思うんで、そこは委託料みたいなものは発生すると思うんですけど、まずは民間に委託するというので、人件費を払ってるといふのと、委託料を払っているというのだと、人件費ってやっぱり非常に見た目が悪いんですね。数字的に例えば1億ずつ払ったとしても、人件費に1億払っているのと委託料に1億払っているのだと、まったくその財政指数の、歳出の基礎が変わってくるんですよ。そうすると人件費っていうのは極力払わないようにしたほうがいいと思っちゃうんですよ。お財布としては一緒なんですよ。しかし、そういう手法をとっていきんで、三浦市も似たようなことをやっているんですけど、効率的な経営を目指して、民間に譲渡していくことになろうかと思っておりますけど。まあ施設は残していただくことで、決着

してますんで、ふれあいの村は残ると思います。

他にありますか。

市民

区民に要望を聞いてきました。1つは投票所の件についてです。以前は三崎高校の体育館と駐車場も利用させていただいて、とても皆さん利用しやすかったんですけど、今回の引橋会館は駐車場が狭く、遠い。その点については選挙管理委員会との折り合いもあるでしょうから、市長さんも検討していただいて、次回の選挙のときにはもうちょっといいところをお願いします。

市民

三崎高校は広いですよ、はっきり言って。投票にも行ったんですけど、引橋会館はちょっと狭いんですけど、投票所がなくなると、どこにもなくなっちゃうじゃないですかあの辺で。多分近所の人がみんな来ると思うから引橋会館でいいんじゃないかと区長とお話して。

市長

消防署を使えないか話したんですよ。消防署新しくできたのに、使わない手はないって言ったんですけど、災害拠点なんで、何かあった時にかえって、足かせって言い方は言葉が悪いんですけど。あそこは全部横須賀市に貸しているというか、相談したんですけど駄目だったんですよ。

考えます。今度2年後になりますんで。

市民

ベイシアの上もそうしたら使えるんですよ？

市長

完成していれば使えます。他になにかございますでしょうか。

市民

毎年言ってたって何一つ変わらない。トイレの問題も何年も前から言っているけど、観光で食べていくんなら、やっぱり来たお客さんが気持ちよく帰れるようにするにはやっぱり1番はトイレでしょう。あれが昔のままで和式のまんまでしょ。今子どもたち和式使えない人がいっぱいいるんだよね。少しぐらい進歩があってもいいんじゃないか。

市長

小網代の森にトイレができましたけども、やっぱり和式が付くんですよ。今和式なんて使う人いないって言っても付けるんですよ。

すみません、努力させていただきます。

市民

市として景観を考えているってことはやっぱりありますよね？

市長

もちろん。景観条例も作りました。

市民

それに基づいて、要はよその人が来てね、三浦半島はいいなあと、そういう意見で、意見を持つような景観を。

市長

例えば今の開発とか、壁の色とか対象になっているんですよ。

市民

三浦市の場合は景観の要素が正直たくさんありまして、市内全体をこういうイメージと絞り込めないっていうのが、いいところでもあるし、進める上では、課題というか難しさでもある。

市長

検討します。よろしいでしょうか。それでは、お忙しいところありがとうございます。時間になりましたので、これで終わりたいと思います。また何かありましたら、何なりとお話聞かせていただければと思います。

ありがとうございました。

※ 公表については了承を得ております。